

Beauli アルミインテリア建材 引戸 上吊りタイプ 組立取付説明書

説明書番号 MI-1416改1

(1)

販売店様・加工店様へのお願い

お願い

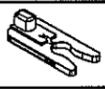
- ◆上吊りタイプは障子重量により垂れ壁の天井が下がってこないようしっかりと補強して下さい。(障子重量は1枚あたり10~30kg程度あります。)
- ◆本商品は一般住宅・室内用ですので用途以外のご使用は避けて下さい。
- ◆取付・建込後は必ず建付調整を行って下さい。調整不良は作動不良や異音の発生原因となります。
- ◆商品の保管は直射日光のあたる場所や常に湿気がある場所を避けて下さい。

絵表示	意味
お願い	「必ず行なっていたく事」を示しています。

梱包形態

お願い

組立の前に部品の数や種類の確認をしてください。(ビスは多めに入っています。)

姿図		1本レール	2本レール		3本レール		
		片引き戸	引き違い戸	2枚引き込み戸	4枚引き違い	3枚引き違い戸	3枚引き込み戸
		SE-1780-04	SE-1780-01	SE-1780-05	SE-1780-03	SE-1780-02	SE-1780-06
 1本レール用 2本レール用 3本レール用 (図は2本レール)	上レール	1	1	1	1	1	1
	上レールアタッチ	2	2	2	2	2	2
 1本レール用 2本レール用 3本レール用 (図は2本レール)	縦枠	2	2	2	2	2	2
	穴フサギシール (丸)	16	16	16	16	16	16
	ガイドピン	1	2	1	4	2	1
 (*ガイドピンに同封) φ4×25皿木ネジ	ガイドピン 取付ビス	2	4	2	8	4	8
 φ3.8×32平皿木ビス	上レール・縦枠 取付ビス	23	28	36	38	36	38
	引戸専用 ストッパー	2	4	4	8	6	6
	上戸車	2	4	4	8	6	6
	床付マグネット受け	0	0	1	2	1	2
 φ3.1×20丸皿木ネジ	床付マグネット受け 取付ビス	0	0	2	4	2	4
	ストッパー金物	0	0	2	0	3	4
 φ3.8×32平皿木ビス	ストッパー金物 取付ビス	0	0	4	0	6	8

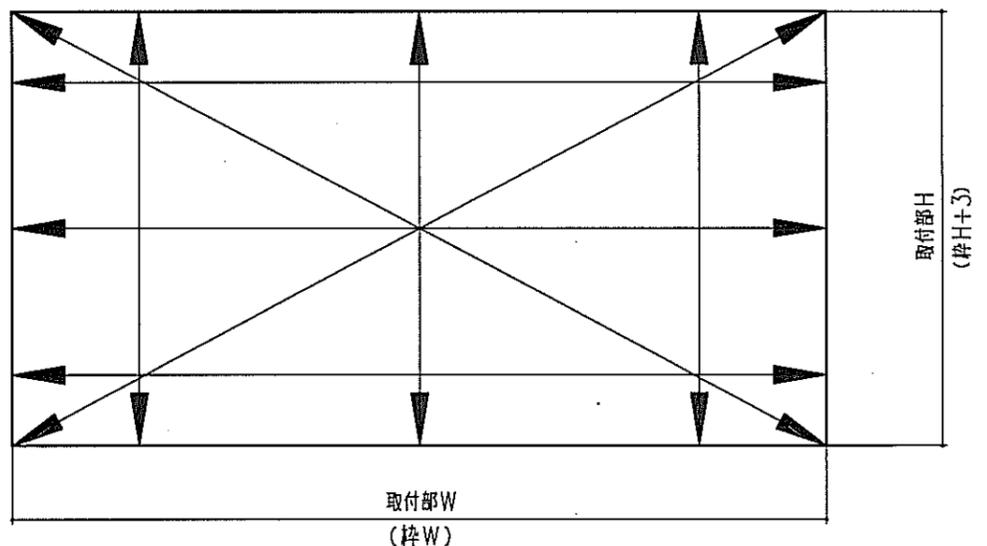
取付開口部の寸法出し

取付開口部の寸法は下記の通り行ってください

- 取付部W寸法 = 枠W としてください。
* 広くなりすぎる場合がありますので、チリ寸法は設定しないでください。
W方向対応は±4mmまで可能です
- 取付部H寸法 = 枠H+3mm としてください。
H方向対応は±2mmまで対応可能です

お願い

図のように採寸を行い、寸法を確認して下さい。
施工が不十分な場合、床を擦ったり、
隙間が出る原因となります



取付部W、取付部Hの精度が出ていても、下記の位置には隙間が出る場合があります。

- A - 縦枠と上枠
- B - 縦枠の上端と躯体の間

これは取付部WHの許容差対応を行うため、あらかじめ隙間を設定しているためです。
標準状態で A 2.5mm・B 3mm となります。

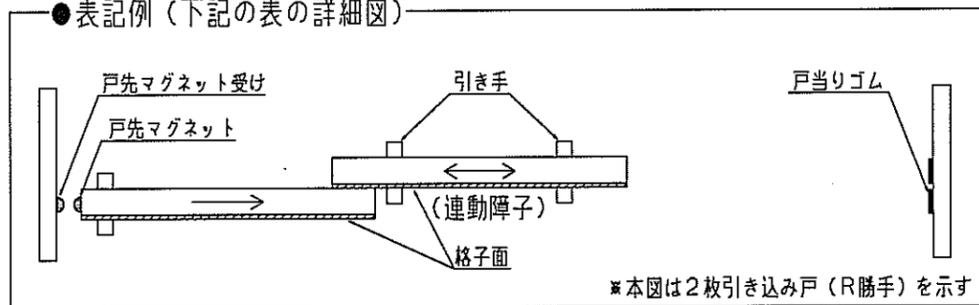
お願い

取付用の下地材を必ず入れてください。
上吊りタイプは障子重量により垂れ壁の天井が下がって
こないようしっかりと補強して下さい。
(障子重量は1枚あたり10~30kg程度あります。)

■ 機種別障子構成表

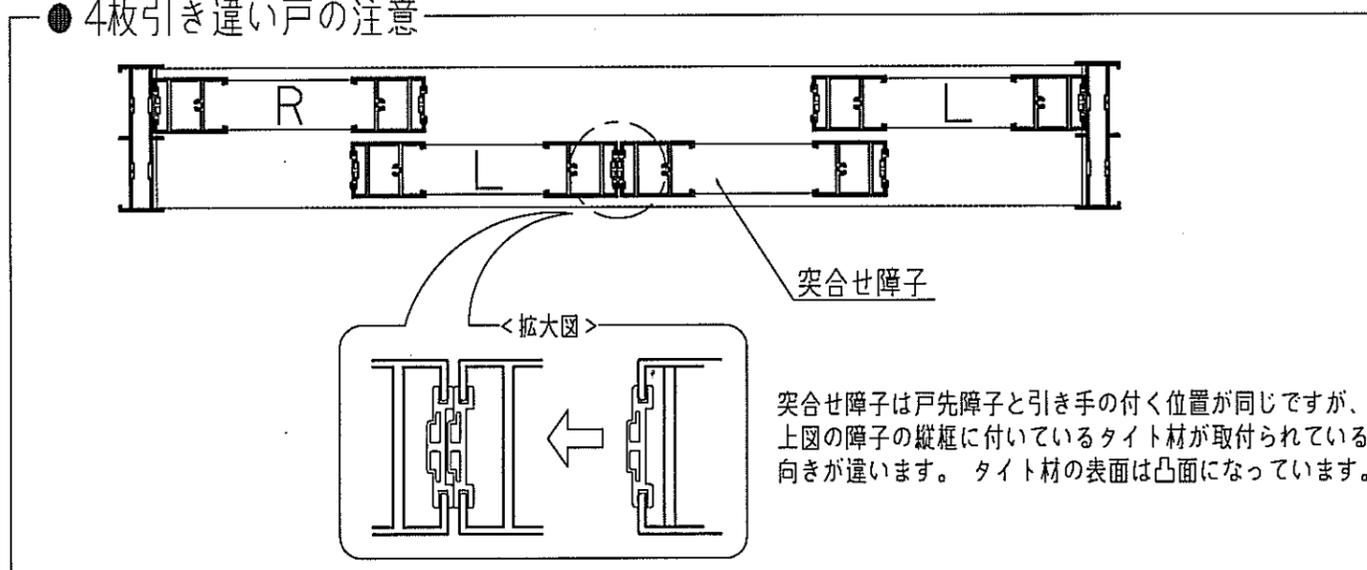
- ◆ 下記の表にて機種別の障子建込み配置位置をご確認下さい。又、枠の勝手向きを同様にご確認下さい。
- ◆ ○内の数字は参考建込み順番を示しています。

● 表記例 (下記の表の詳細図)



	姿図	障子配置位置	
		パネル・中棧タイプ	格子タイプ <small>//////...は格子面を示す</small>
引き違い戸			
3枚引き違い戸 (R・L勝手)			
4枚引き違い戸			
片引き戸			
2枚引き込み戸 (R・L勝手)			
3枚引き込み戸 (R・L勝手)			

● 4枚引き違い戸の注意

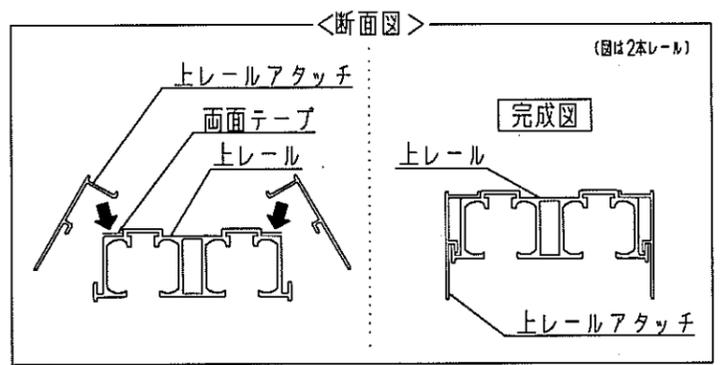
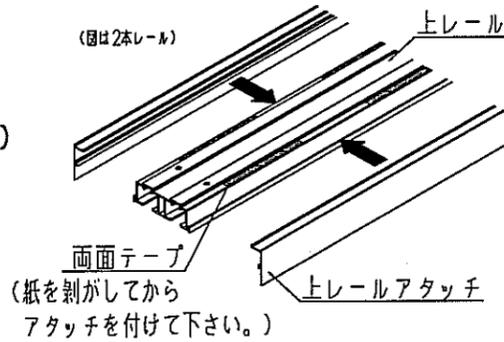


■ 枠の取付

① 上レールの部品の取付

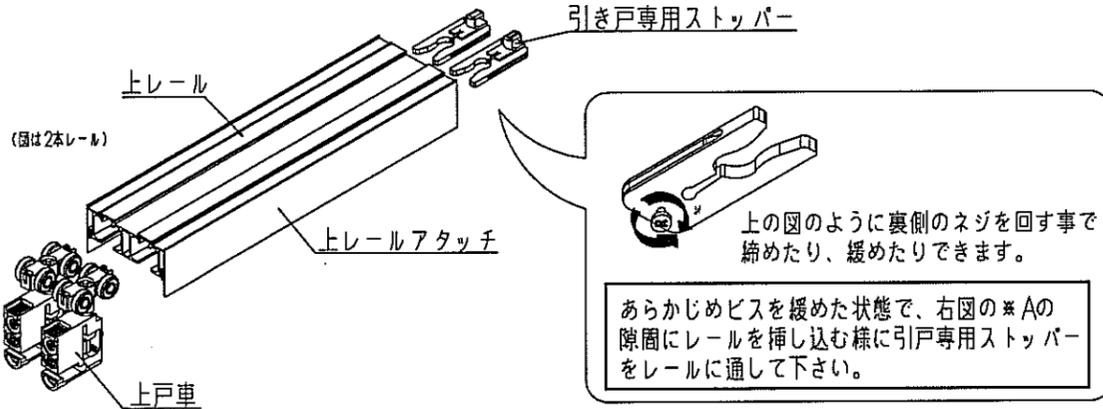
1-1 上レールアタッチの取付 (仮止め)

上レールに付いている両面テープで上レールアタッチを仮止めて下さい。



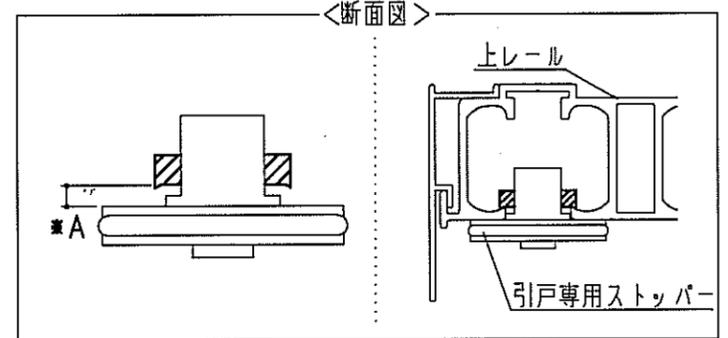
1-2 上戸車・引戸専用ストッパーの取付

上レールに上戸車と、引戸専用ストッパーを下記の図を参考に取付けて下さい。又、上枠を取り付ける際に落ちてこないように、引戸専用ストッパーは仮止めて下さい。



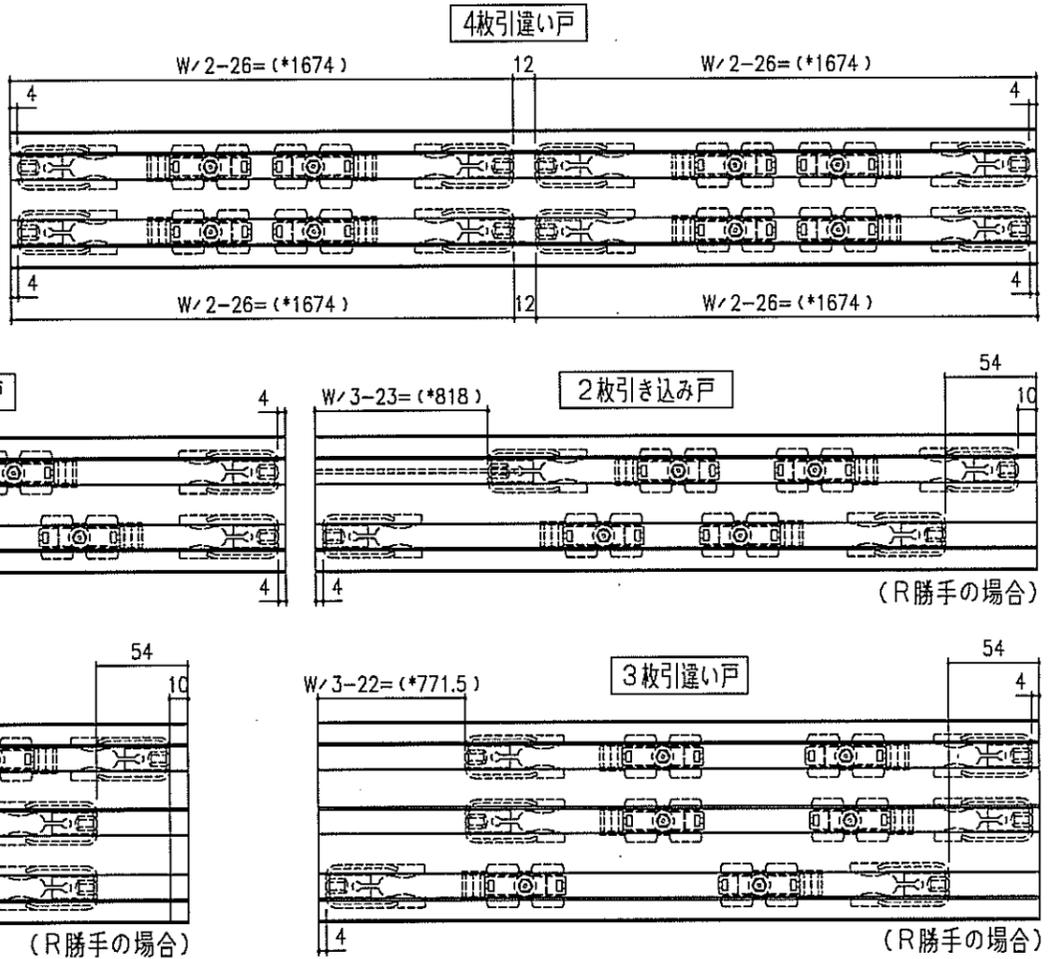
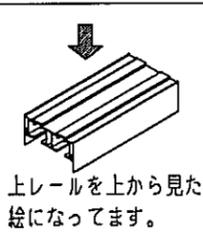
お願い
上戸車と引戸専用ストッパーの取付を忘れると本体の建て込みが出来ませんので、必ず取付けて下さい。

● 引戸専用ストッパーの取付方



<上戸車と引戸専用ストッパーの位置> (上から見た状態)

(*)の寸法は規格品での寸法となります。



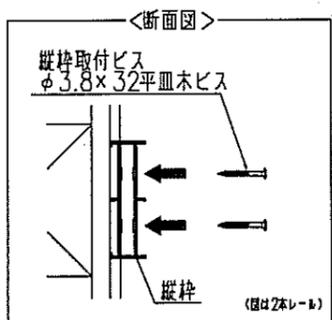
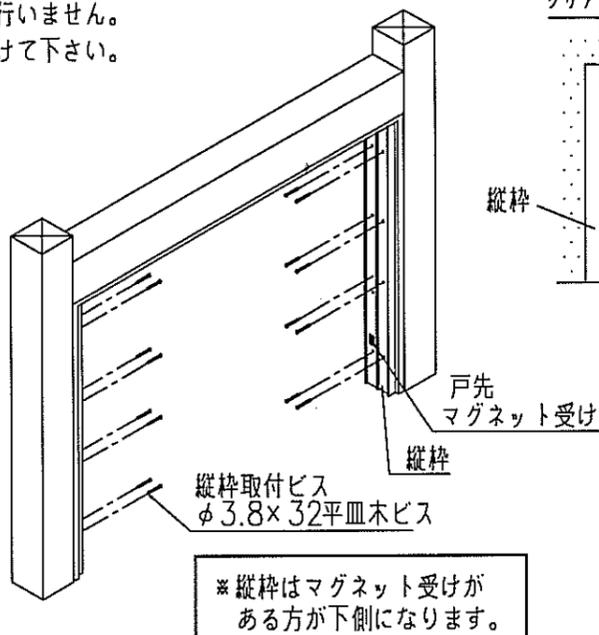
② 縦枠の取付

図のようにマグネット受けを下側にし、縦枠を付属のビスで取付けて下さい。

貼り付けタイプの枠なので組立を行いません。順番は縦枠→上レールの順に取付けて下さい。

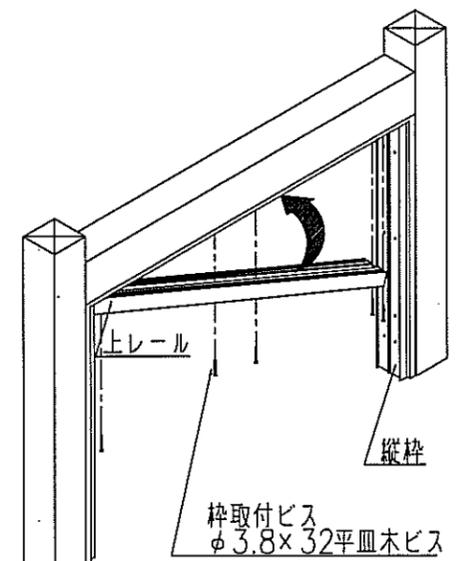
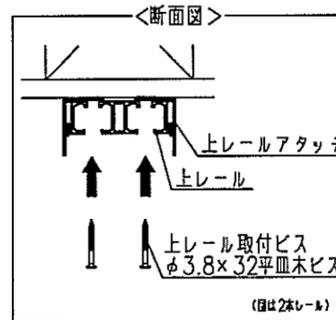
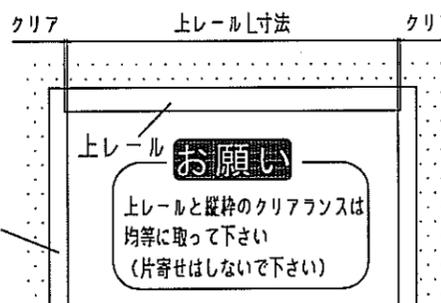
お願い

ビスの締め付けはクラッチ付きのドライバーを使用してください (締め付けトルク 3N・m以下)



③ 上レールの取付

図のように、上レールを付属のビスで取付けて下さい。

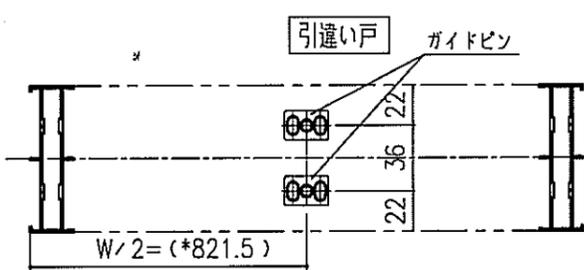
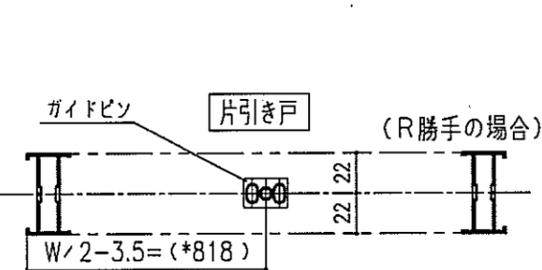
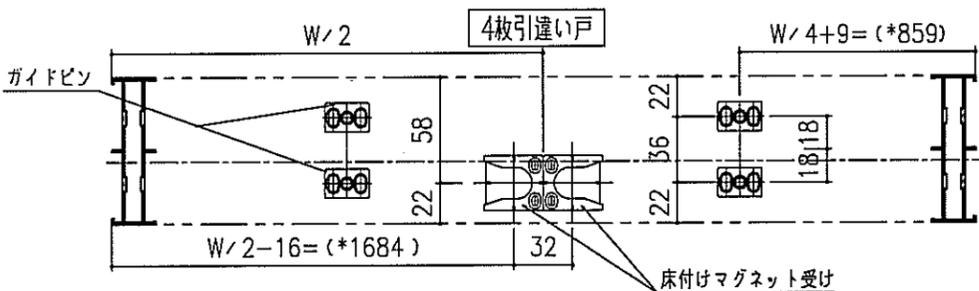


■ ストッパーの取付

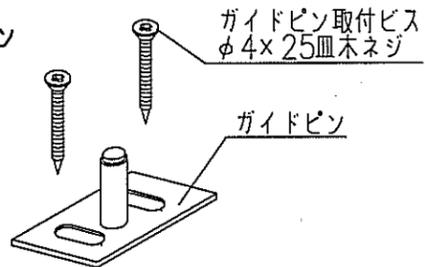
① ガイドピンと床付マグネット受けの取付

ガイドピン・床付マグネット受けを取付位置にセットし、付属のビスで取り付けて下さい。 ※ ①と②参照

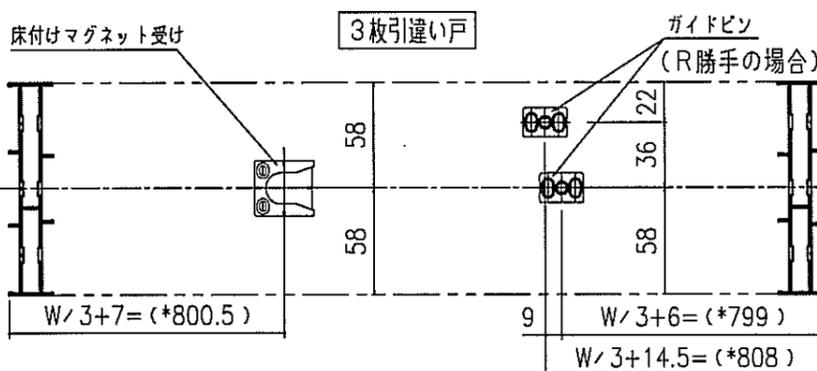
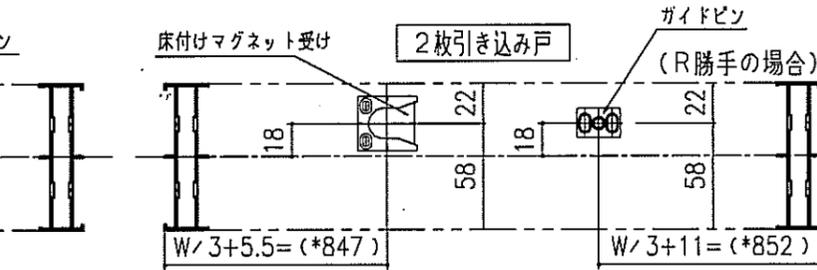
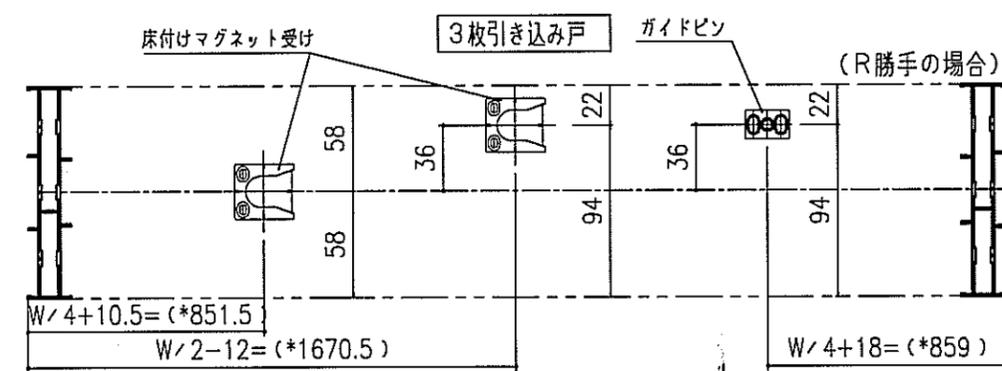
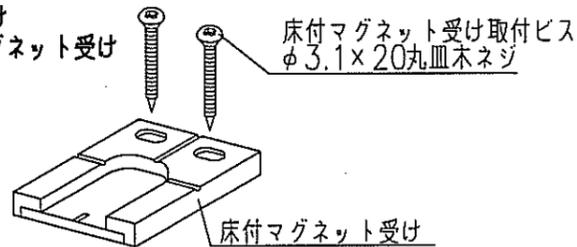
<ガイドピンと床付マグネット受けの取付位置>



① ガイドピン



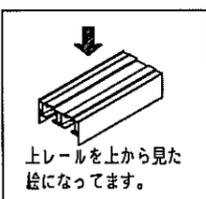
② 床付マグネット受け



② ストッパー金物の取付

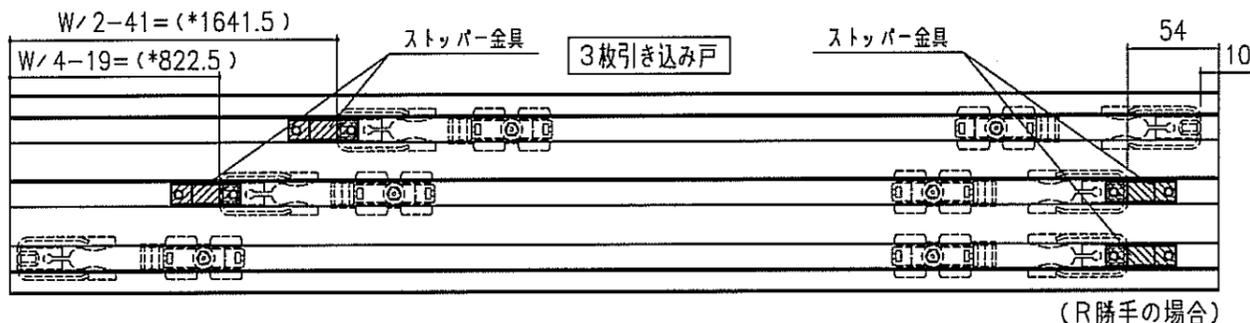
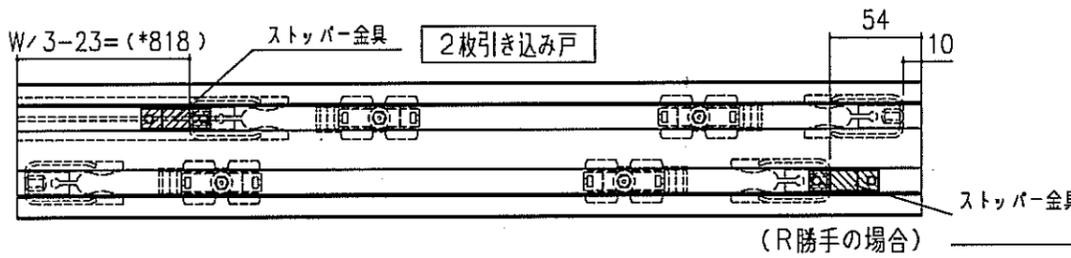
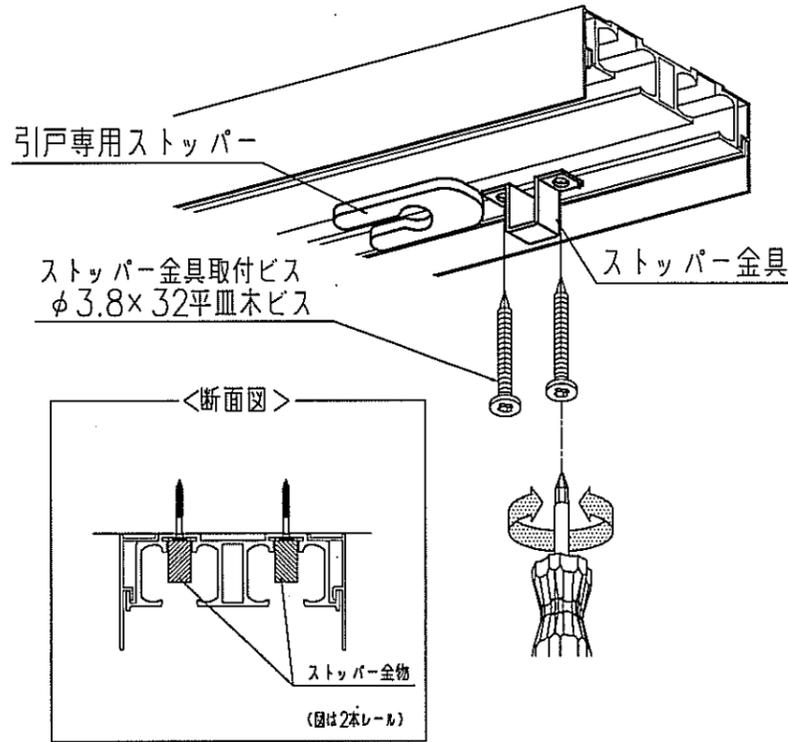
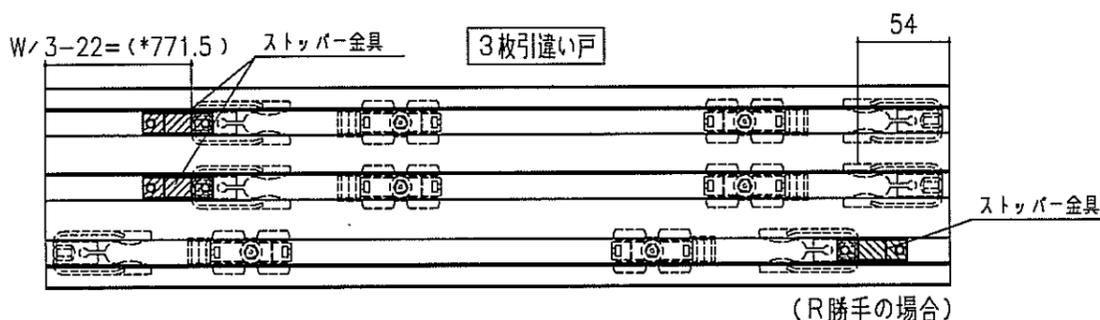
<ストッパー金物の位置> (上から見た状態)

(*) の寸法は規格品での寸法となります。



縦枠、上レールを躯体に取り付けた後、上枠の溝に有るビス孔に合わせてストッパー金物を取り付けて下さい。

(※ 仮止めしてある引戸専用ストッパーは、一度ずらしストッパー金物を取付けた後にストッパー金物におし当てる様にしっかり固定して下さい。)



お願い

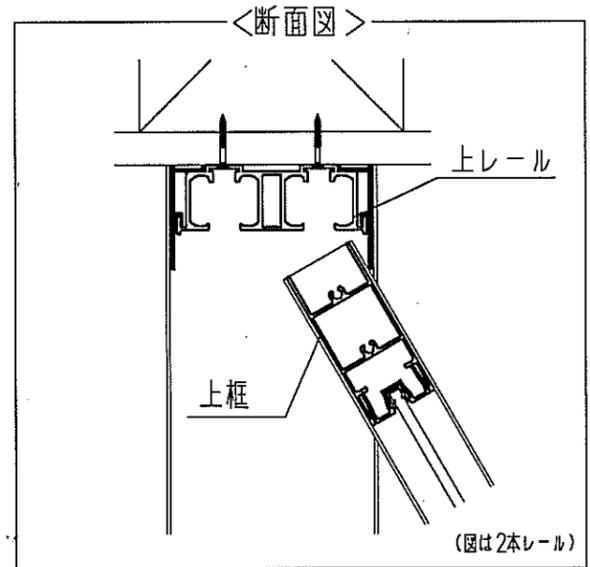
必ず上戸車と専用ストッパーの取付が終わり、上レールを開口部に取り付けた後にストッパー金物を取り付けて下さい。

障子の建込

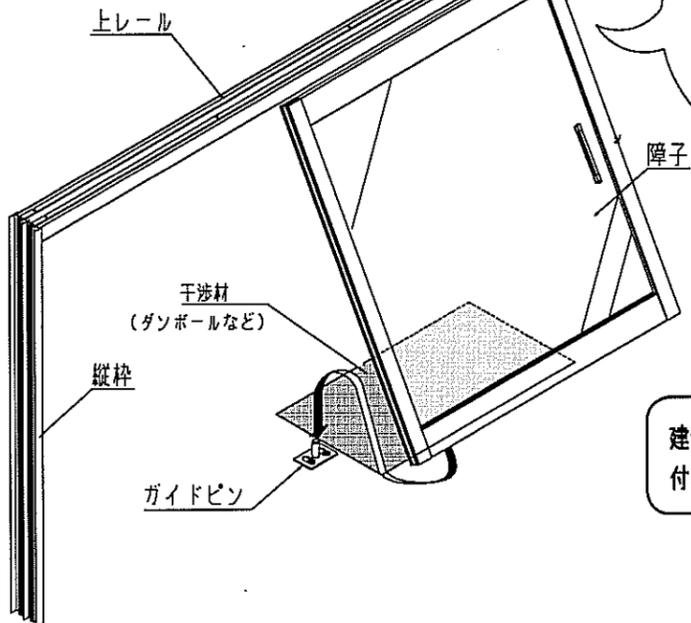
① 上吊りタイプの建込

上レールに呑み込ませるように上框を最初のみ込ませて下さい。
 障子の配置は機種別障子構成表 (P.2) を参照願います。
 (*障子を閉める方向に引手があるようにして下さい。)

- ① 障子を持ち上げて上レールにのみ込ませた後、障子持ち上げたまま下框の溝にガイドピン
 又は、連動ガイドピンを入れて障子を建て込んで下さい。
 建て込み時、床が傷つくのを防止するために障子の下に干渉材を敷く事をお勧めします。
 建て込む前に障子上部の戸当りゴムを事前にめくっておきますと作業が行い易くなります。



一般の障子の場合



障子立込み時の注意

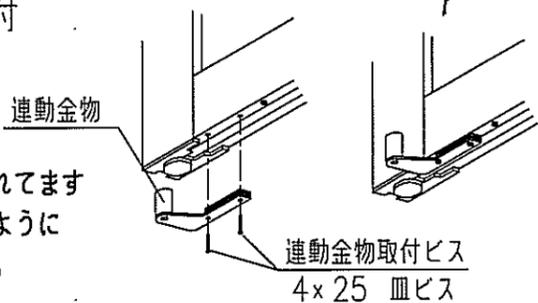
建込時に引手の位置及び向きに気を付けて障子の建込を行って下さい。

連動障子の場合

* 連動障子の下端に連動金物を取り付けて下さい。

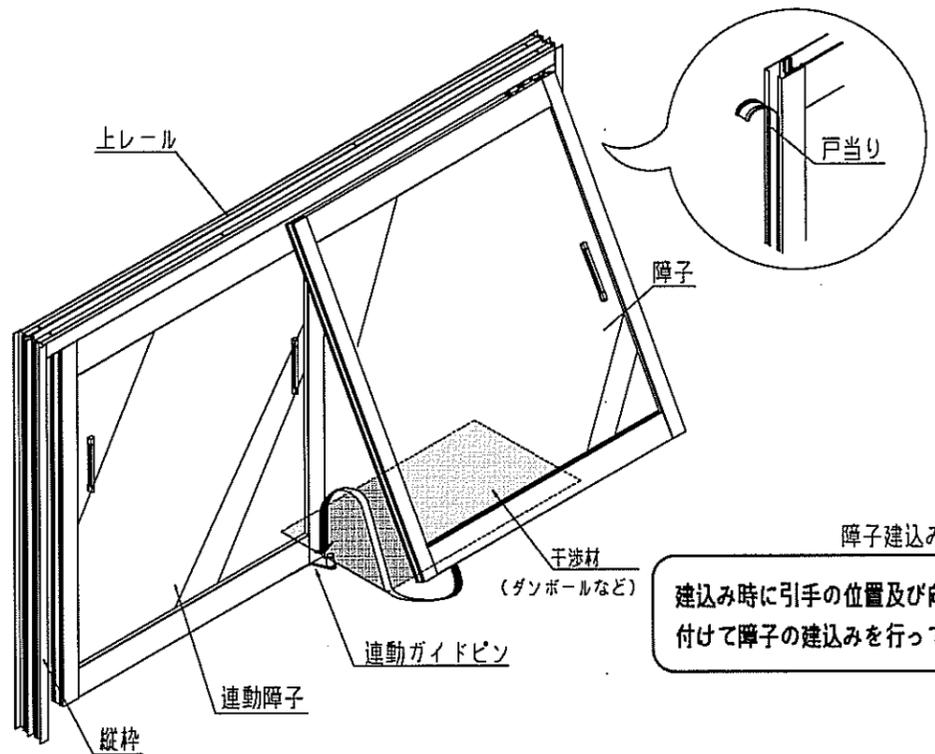
連動金物の取付

連動障子に同梱されてます
 連動金物を右図のように
 取り付けて下さい。



障子立込み時の注意

連動ガイドピンが変形してしまうので絶対、
 連動ガイドピンに障子を乗せないで下さい。



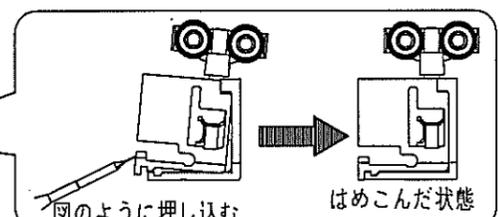
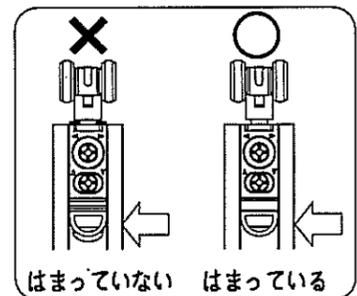
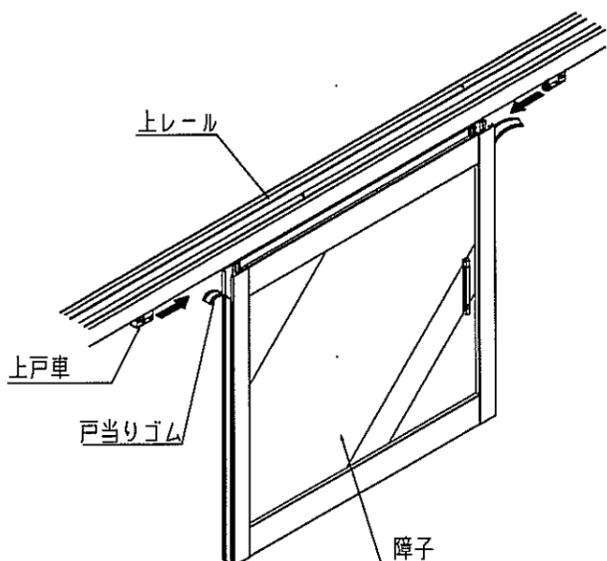
障子建込み時の注意

建込み時に引手の位置及び向きに気を付けて障子の建込を行って下さい。

- ② 戸当りゴムをめくり上戸車を障子に差し込んで下さい。
 上戸車を差し込んだら戸当りゴムを戻して下さい。

戸車差し込み時の注意

上戸車の差し込みが甘いと障子脱落の恐れがあります。
 手ごたえがあるまで差し込んで下さい。
 右下の図を参考にして、確認してください



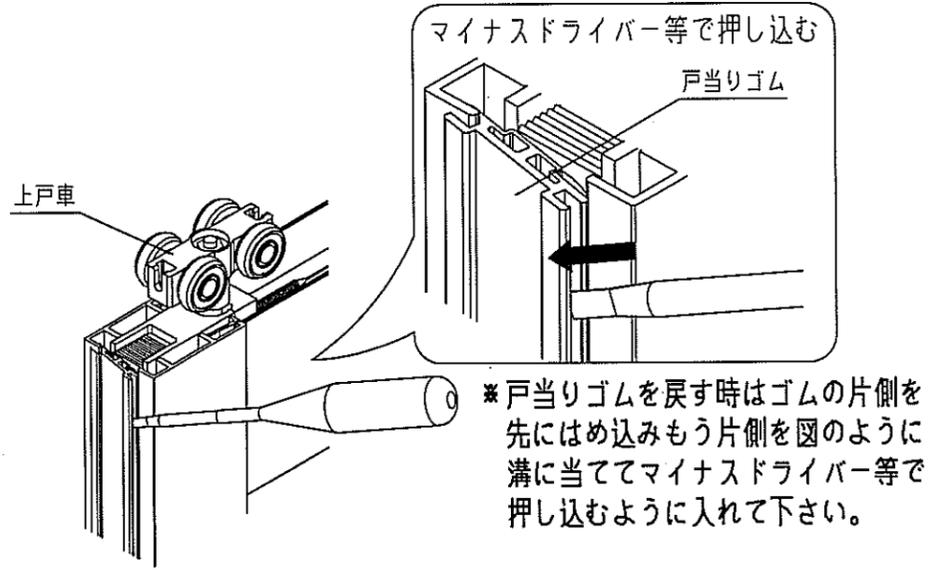
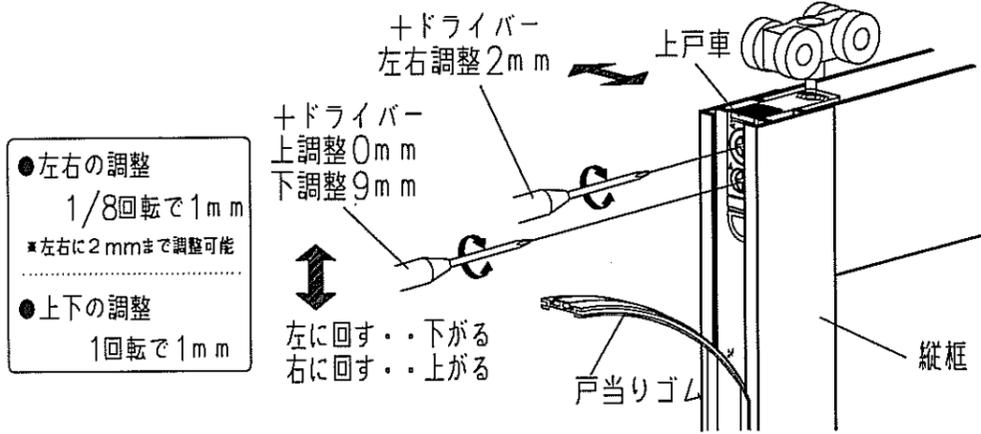
* 上図のように上戸車の下端をマイナスドライバーで押し込んでください

調整

① 上戸車の調整

* 調整時には絶対、電気ドライバーは使わないで下さい。

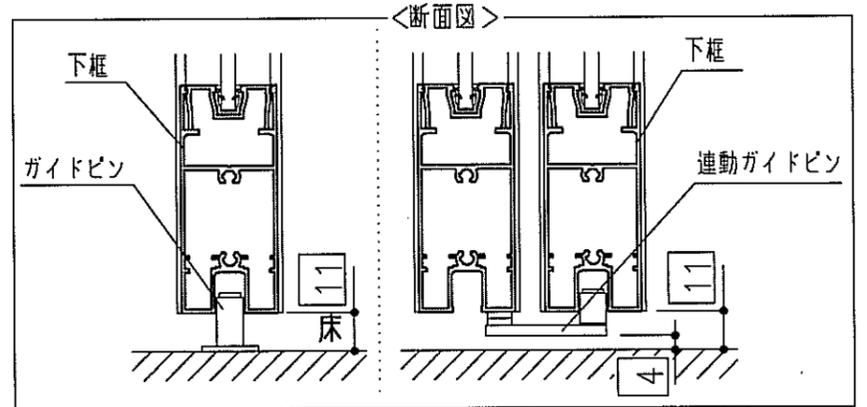
- ① 障子本体を取付け後、上下のチリが合っていない場合は戸当りゴムを剥がして図のように上戸車の調整ねじを回して上下のチリを調整して下さい。
- ② 上下のチリを調整後、戸当りゴムを元に戻して下さい。



* 上吊車の設定を障子を一番上げた状態で設定しています。

障子の高さ調整時の目安として右図(*B)のように床と下框のクリアランスを11mmになる様に必ず障子の高さ調整をして下さい。

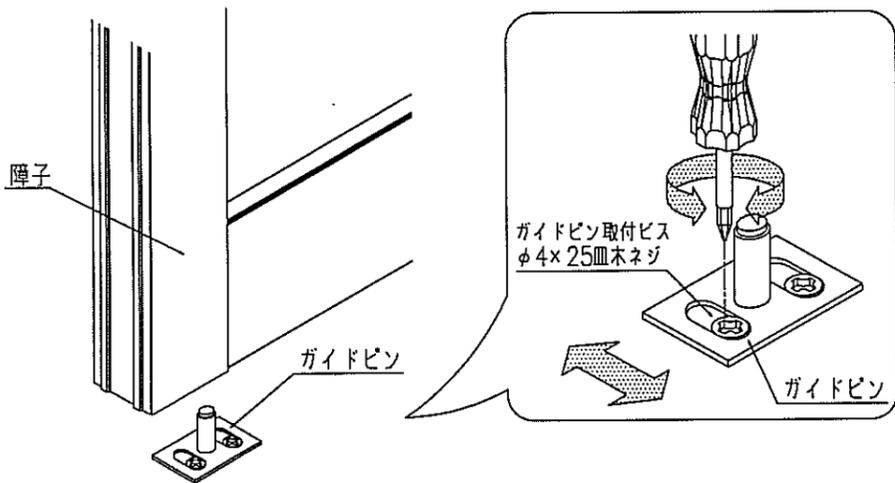
● 床と下框のクリアランスについて(*B)



- ・ 11mmより広がってますとガイドピン・連動ガイドピンが障子から外れてしまう恐れがあります。
- ・ 11mmより狭くなりますと連動金物が床を傷つける恐れがあります。

② ガイドピンの調整

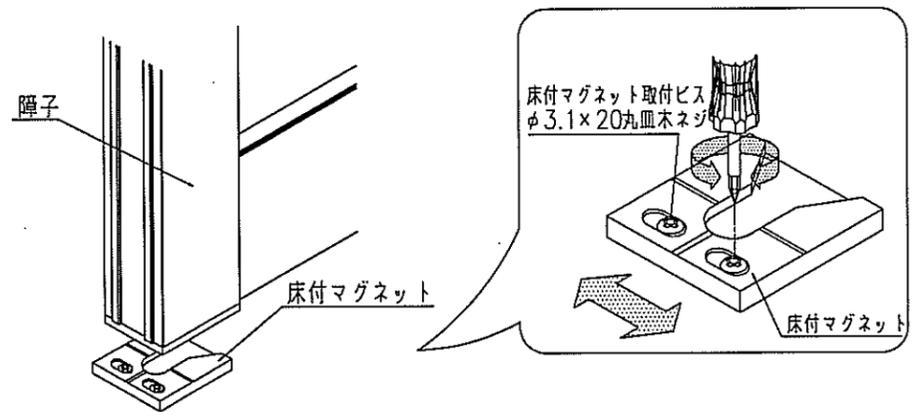
ガイドピンを止めているビスをゆるめ、ガイドピンを前後に動かして調整して下さい。



③ 床付マグネット受けの調整

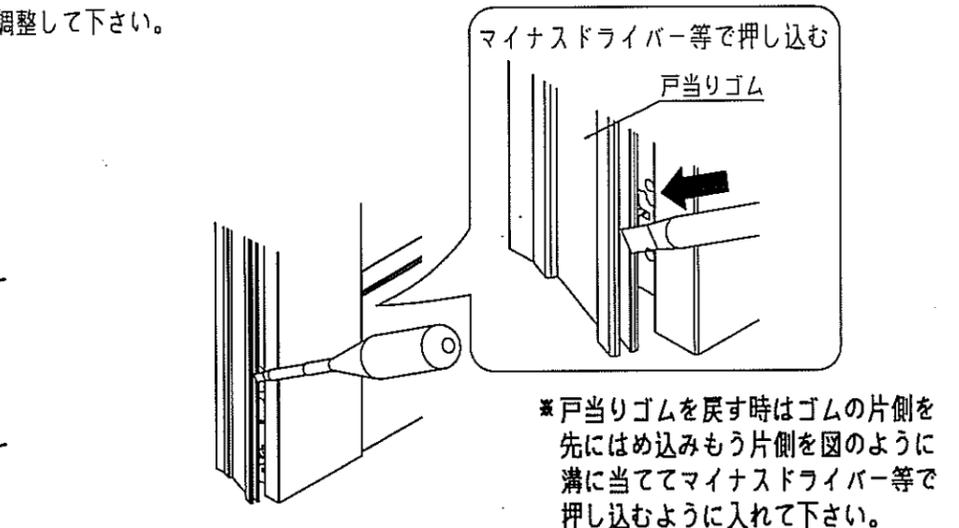
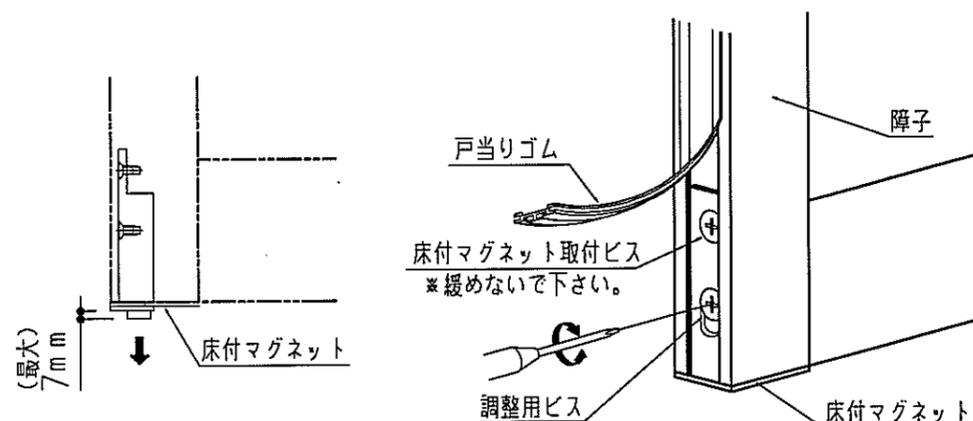
床付マグネット受けは前後に調整できます。

床付マグネット受けを止めているビスを緩めて前後に調整して下さい。位置が決まりましたら、再度2本のビスを締めして下さい。



④ 床付マグネットの調整

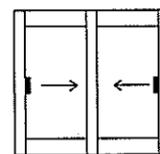
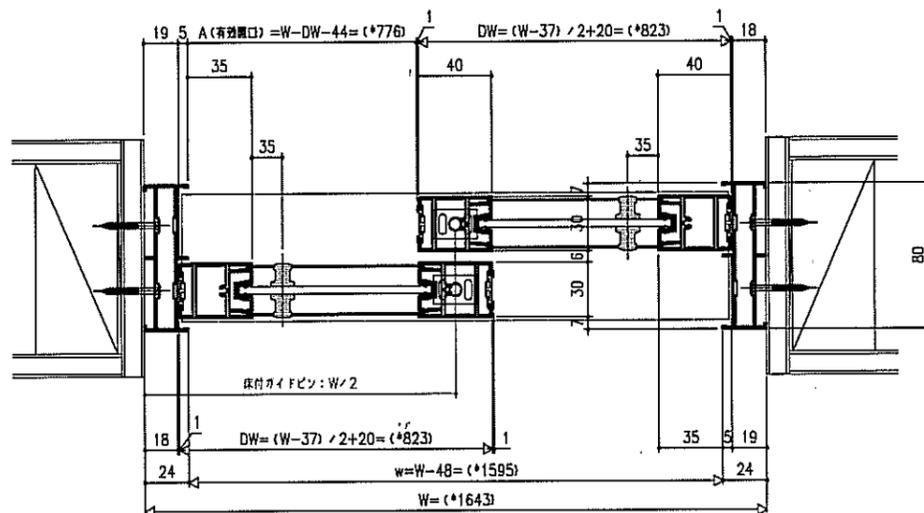
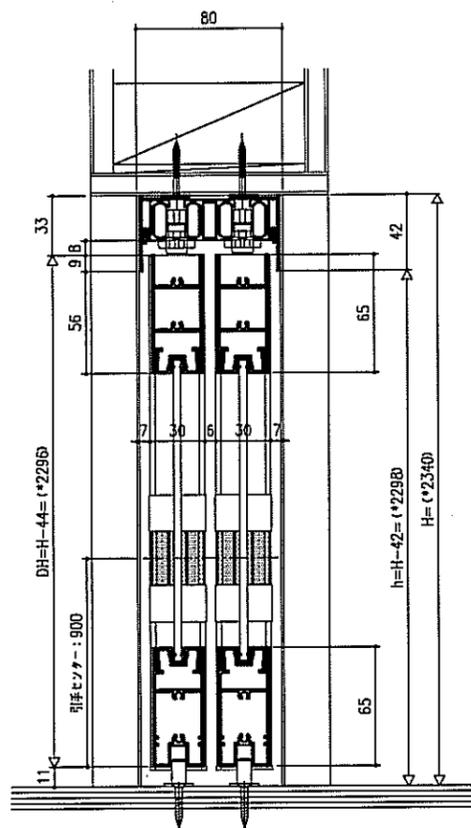
マグネットが落ちないようにしたら マグネットが落ちる位置までマグネットの出寸法を調整して下さい。初期設定は0で設定していますので 下に7mmまで出す事が出来ます。調整方法は上から2番目のビスを緩めて マグネットが落ちる位置で締め直して下さい。



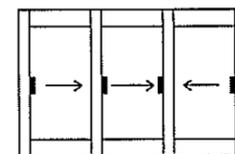
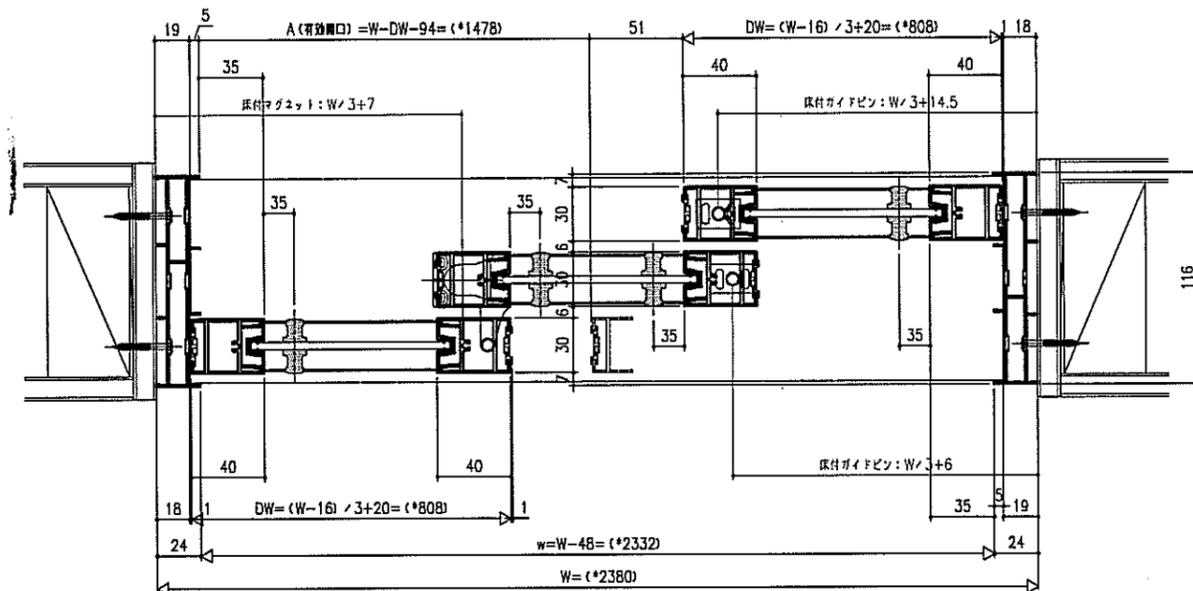
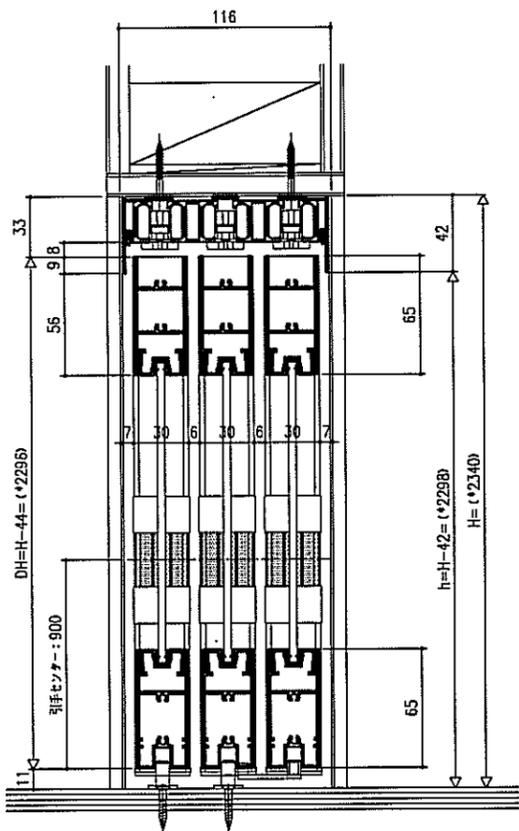
参考納まり図

(*) の寸法は規格品での寸法となります。

引き違い戸 上吊りタイプ



3枚引き違い戸 上吊りタイプ (R勝手の場合)



4枚引き違い戸 上吊りタイプ

